

## 神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第4章 地域包括ケアシステムの推進

第1節 在宅医療

とりまとめ担当課：医療課

### 1 課題に対するこれまでの取組実績

#### (1) 在宅医療の提供体制について

ア 円滑な在宅療養移行に向けての退院支援

→ 在宅医療推進協議会（全県単位）を開催した（H30：2回）。また、地域在宅医療推進協議会（各保健福祉事務所単位）を開催した。（H30：7地域で延べ7回開催）

イ 日常の療養支援

→ 「かながわ医療機関情報検索サービス」を通じて、分かりやすい情報提供を行い、連携の推進を図っている。

→ 県HPにおいて「かかりつけ医」、「かかりつけ薬剤師・薬局」の広報を実施。

→ 在宅歯科医療の地域の拠点として在宅歯科医療中央連携室（1箇所）、地域連携室（県内25箇所）を設置し、歯科医療機関における在宅歯科医療の充実を促進した。

→ 麻薬を含めた医薬品の適正な使用に関する薬剤師向けの講習会（H30：7回）や健康サポート薬局に係る技能習得型研修会（H30：4回）を実施した。

→ 神奈川県リハビリテーション支援センターへの委託を通じて取組みを実施。

ホームページによる地域リハビリテーションに関する情報の提供

支援センタースタッフによる専門相談（H30：延べ295件）

かながわ地域リハビリテーション・ケアフォーラム（H30：1回）

地域リハビリテーション推進研修（H30：2回）

ウ 急変時の対応

→ 回復期病床等転換施設整備費補助事業により、8医療機関に補助を実施し、地域完結型医療の推進を図った。

エ 患者が望む場所での看取り

→ 在宅医療トレーニングセンターにおいて看取り研修を実施（H30：2回）

オ 小児や障がい者を対象とした在宅医療

→ 体制整備に関する協議会を開催した（県全域対象：1回 横須賀地域対象：2回）。また、小児在宅医療に関する研修会を実施（12回：487名参加）した。

→ 在宅で療養する高齢者や障がい児者を対象に、訪問による口腔ケアの実施と口腔機能発達の支援相談を行った（H30：82回、延124名）。また、障がい児者を対象に、口腔内診査、う蝕予防処置等、歯科保健指導や摂食機能発達支援相談を行った（H30：243回、延521名）。

→ 在宅で療養する高齢者や障がい児者を対象に、訪問による口腔ケアの実施と口腔機

<p>能発達の支援相談を行った（H30:82回、延124名）。</p> <p>カ 在宅医療を担う医療機関</p> <p>→ 在宅歯科医療中央連携室の研修業務を行い(H30:95回)、新たに在宅歯科医療を行う歯科医療従事者の増加を図っている。</p> <p>キ 在宅医療に必要な連携体制</p> <p>→ （再掲）</p> <p>在宅医療推進協議会（全県単位）を開催した（H30：2回）。また、地域在宅医療推進協議会（各保健福祉事務所単位）を開催した。（H30：7地域で延べ7回開催）</p> <p>→ 在宅医療トレーニングセンターにおいて在宅医療の推進や、多職種協働の推進のために必要な研修等を実施した。（H30:研修95回 受講者2,933人）</p> <p>→ 救急医療問題調査会にて出口問題について議論し、次年度以降引き続き検討することとした。</p>
<p>（2）在宅医療を担う人材について</p>
<p>→ 医療保健福祉関係者を対象とした摂食機能に係る講演会及び障害児者等を対象とした摂食機能支援相談会（実地研修）を開催した（H30:講演会4回、相談会6回）。</p> <p>→ （再掲）</p> <p>在宅医療トレーニングセンターを平成27年10月に設置、在宅医療の推進や、多職種協働の推進のために必要な研修等を実施した。（H30:研修95回 受講者2,933人）</p> <p>→ 在宅医療・介護連携推進事業を円滑に推進することを目的とした市町村等担当者への研修会の開催（H30：1回、参加者40人）</p>

## 2 目標値の推移

名称	単位	策定時	実績値 (H30)	達成 目安	目標値 (R5)	達成率 (%)	備考
退院支援を実施している診療所・病院数	機関	153 (H27)	120以上 (H29)	171	225	—	NDB
訪問診療を実施している診療所・病院数	機関	1,455 (H27)	1,368以上 (H29)	1,626	2,139	—	NDB
訪問看護事業所数	機関	610 (H29)	709	644	811	◎ 291.1%	平成31年4月1日神奈川県介護保険指定機関管理システムに登録されている事業所数情報)
訪問歯科診療を実施している歯科診療所数	機関	725 (H26)	1,123以上 (H29)	811	982	—	医療施設調査
薬局における訪問薬剤管理指導又は居宅療養管理指導を受けた者の数(レセプト件数)	件数	301,601 (H27)	356,147 (H28)	319,320	443,353	◎ 307.8%	NDB及び介護保険請求件数

訪問診療を受けた患者数(レセプト件数)	件数	662,821 (H27)	749,972 (H30)	740,703	974,347	◎ 111.9%	NDB
往診を実施している診療所・病院数	機関	2,059 (H27)	1,648以上	2,422	3,027	—	NDB
在宅療養支援診療所・病院数	機関	930 (H28)	903 (H30)	1,036	1,302	△ -25.4%	平成29年3月31日診療報酬施設基準
在宅療養後方支援病院数	機関	21 (H28)	22	23	29	△ 50%	平成29年3月31日診療報酬施設基準
在宅看取りを実施している診療所・病院数	機関	694 (H27)	492以上	817	1,020	—	NDB

### 3 参考指標の推移

指標名	単位	神奈川県内					参考指標を設定した理由	備考
		H30	R1	R2	R3	R4		

### 4 課題ごとの進捗状況の評価

#### (1) 在宅医療の提供体制について

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<p>ア 円滑な在宅療養移行に向けての退院支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療推進協議会等を着実に開催した。</li> </ul> <p>イ 日常の療養支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「かながわ医療機関情報検索サービス」を通じて、分かりやすい情報提供を行い、連携の推進を図っている。</li> <li>薬剤師向けの研修や、在宅歯科医療の地域の拠点として在宅歯科医療中央連携室(1箇所)、地域連携室(県内25箇所)を設置し、歯科医療機関における在宅歯科医療の充実を促進した。</li> </ul> <p>エ 患者が望む場所での看取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療トレーニングセンターにおいて、看取りに関する研修を実施したし、在宅医療関係者のスキル向上を推進した。</li> </ul> <p>オ 小児や障がい者を対象とした在宅医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体制整備に関する協議会を開催した(県全域対象:1回 横須賀地域対象:2回)。また、小児在宅医療に関する研修会や口腔管理に関する支援相談を行った。</li> </ul> <p>カ 在宅医療を担う医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅歯科医療中央連携室の研修業務を行い(H30:95回)、新たに在宅歯科医療を行う歯科医療従事者の増加を図っている。</li> </ul>

	<p>キ 在宅医療に必要な連携体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療推進協議会（全県単位）や地域在宅医療推進協議会（各保健福祉事務所単位）を開催し、必要な連携体制の構築に努めた。</li> </ul>
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な取組みが着実に実施されており、比較的順調に進捗した。</li> </ul>

## （２）在宅医療を担う人材について

評価	A ・ <b>B</b> ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療トレーニングセンター等において在宅医療を担う人材育成を目的とした研修が多数開催された。</li> </ul>
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な取組みが着実に実施されており、比較的順調に進捗した。</li> </ul>

## 5 総合評価

評価	評価理由
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な取組みが着実に実施されており、達成率が 100%を超える目標値も複数あった。</li> <li>一方で、国から提供されるデータのマスクング処理が厳格化されたため、実績値の把握が困難になっている。今後正確な数値の把握の方法について検討する。</li> </ul>